

## 第38回東海地区学校図書館研究大会（名古屋大会）

### 杏和高校の図書館活動についての実践発表を行いました！

8月8日、9日の2日間、ウインクあいちと愛知淑徳大学を会場に、東海地区学校図書館研究大会（名古屋大会）が開催されました。

「未来の扉を開く 学校図書館の創造」～学びを広げ 心を育む 本との出会い～」を大会主題に、愛知、岐阜、三重、静岡から多くの先生方が集まり、子どもたちの豊かな未来の扉を開く学校図書館の在り方などを共に学び考えました。

本校の渡辺堅二先生も「杏和高校の図書室の1年～図書館だより1年を振り返り杏和高校図書室の今後の行方を探る～」と題した実践発表を行いました。

少しでも多くの生徒を図書館に集めるために行った「ブックワゴン」、「ビブリオバトル」、「hookBOOKrow(福袋)」、「ブックラリー」などの様々な取組や図書委員の活動などについて報告されました。

渡辺先生の精力的な取組やユニークな活動は、参加した先生方にも大きな刺激となったようで、発表後は熱心な質疑応答がなされました。

学校図書館は「主体的・対話的で深い学び」を支える場として、今後ますます重要になっていきます。生徒も先生も足を運びたくなる図書室をめざして、今後も杏和高校は様々な取組を進めていきます。

